

患者様用パス (胃瘻造設術)

患者氏名 _____ 様 説明日 _____
 病名 _____ 胃瘻種類 チューブ ボタン 説明者 _____
 病棟 _____ 病室 _____
 主治医 _____ 病棟看護師長 _____ 担当看護師 _____ が担当させていただきます
 栄養管理 管理栄養士 _____ が評価させていただきます 特別な栄養管理の必要性 有 無
 現在の症状 なし あり (_____)

	手術前日	術当日術前	内視鏡的胃瘻造設	術当日術後	術後1日目	術後2日目	退院後の注意点
日付							
食事	21:00以降は 絶食です	絶飲・絶食です 				外科医師から胃瘻チューブ使用の許可が出れば 主治医の判断で翌日から胃瘻使用開始となります	<ul style="list-style-type: none"> ・チューブの劣化に注意して下さい。半年毎の交換が目安です。 ・自分で管を抜かないように注意して下さい ・皮膚のただれやチューブ挿入部からのもれがあったら受診して下さい
安静	通常どおりです 	ベッドの上で安静に下さい 		ベッド上安静です ベッドを30度まで起こすことは可能です	ベッド上安静ですが、足を下ろして座ることは可能です 	通常どおりです 	
検査							
処置		内視鏡室から連絡があったら移動用のベッドに移り、内視鏡室に行きます	胃カメラをのんでいただき胃を膨らませてから局所麻酔を行って、お腹の表面より胃の中にチューブを入れます 約30分程度で終了します	空気がお腹の中にたくさん入るため、術後はしばらくの間お腹が張る事があります	外科医が往診にてガーゼ交換をします 外科の診察は終了します		
注射		必要があれば点滴を行います 	抗菌剤の点滴を手術中に行います	<div style="border: 2px solid green; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p><終了基準> 外科医師から胃瘻チューブ使用の許可が出て、主治医の判断で胃瘻からの栄養が開始できれば終了となります</p> </div>			
説明指導			医師が手術の結果を説明します 				
目標					創部の痛みがない	胃瘻からの栄養が開始できる	

※予定が変更になる場合があります。不明な点はお尋ねください。
 ※ボタン式の場合、急遽チューブ式に変更になる場合もあります。